◇地域支援センターさんさん
◇放課後児童クラブ
◇MICE施設の誘致

大城 誠一 議員

問 地域活動支援センターさんさんの解散により、その施設に通所していた利用者の入所先の状況について聞く。また、利用者からこのセンターの再開所についての要望はないか。

福祉部長 他の障害者福祉サービスを利用していて、個々それぞれに就労系や居宅系あるいは医療系のデイケアに通っています。また該支援センター開所を望む声は聞かれます。なるべく早く委託先を探したい。

問 学童保育は、働く親を持つ小学生が放課後、長期休業日の生活を保障する子育て施設として重要である。このような放課後児童クラブについては、市町村が条例を制定して、対象児童の拡大、設備及び運営基準策定など、市町村の積極的な取り組みが義務付けられている。本町の取り組みについて聞く。またこの条例の制定を次の9月定例会議に提出する予定があるか聞きたい。

福祉部長 町子ども・子育て会議を開催しており、この中で学童保育についても検討している。条例は、9月定例議会に提出する予定。

問 国道329号バイパスの延伸については、産業界や多くの町民から切望されながら実現していない。早期実現に向けての決意は。

町長 この延伸の件は国に対して要望を繰り返してきたが、費用対効果の問題等で前進する回答がなかった。

ここに来て、調査費が平成26年度予算に計上され大きく動き出した。今後の工業の発展と空洞化を避けるうえでも早期の事業化に向けて取り組んで行く。

問 兼久交差点から西原小学校入口までの道路は幅員が狭いうえ歩道が整備されてなく危険である。この通学路の整備スケジュールは。

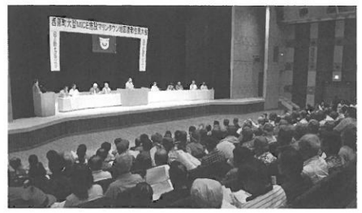
建設部長 この区間は平成27年度に用地買収、物権補償を行い、28年度に工事着工の予定。安全安心な道路を早期に完成させる。

問 MICE施設の誘致を確かな物にするためにも、与那原町と連携して更なる要請行動を行う必要がある。新たな取組を聞く。

町長 西原町も最後の追い込みということで、与那原町と連携しながら、両町それぞれに独自の住民大会を開催する。これにより大型MICE施設の誘致をさらに一段と手繰り寄せたい。

問 自動車臨時運行許可業務取り扱いについて。

総務部長 町民の利便性を図るうえでこの業務の指定が可能か、職員等の体制等も考えながら対応したい。



MICE施設マリンタウン地区誘致住民大会のもよう

◇㈱西原ファーム2年間で1,970万円の赤字
◇セクター方式課題

大城 好弘 議員

問 本町の遊休地耕作放棄地は約10万坪あり平成23年11月に㈱西原ファームを設立し、農地耕作放棄地解消事業がスタート、平成24年、平成25年度で耕作放棄地再生事業交付金2億4,890万円の予算事業のその実績を問う。ア、農地契約件数、面積、地料の総額、手続きについて。イ、耕作面積、ビニールハウス、平張ハウスの件数と面積。ウ、農地の借地料が一年延滞になっている理由と件数について。

建設部長 契約件数80件面積が約3万1千坪、地料は年間190万円となっております。耕作面積、7万9千㎡、ビニールハウス8施設で、1万9,300㎡、平張ハウスが2施設で1,500㎡となっております。地料の延滞になっている理由は事務処理の不備で15件で全額支払われております。

問 ㈱西原ファーム農作物の生産事業の実績を問う。ア、平成24年、25年の決算の損益の額について。イ、経営に当り、従事者数と内容について。ウ、ビニール、平張ハウスのリース料、農地の借地料の額について。エ、㈱西原ファームの資産について。オ、生産品目別の生産額について。カ、総経費に対する採算点の額について。

建設部長 平成24年度でマイナス530万円、平成25年度でマイナス1,440万となっております。直営農場で5名、加工場が3名、計8名となっております。ハウスのリース料は年間450万円、地料は190万円、固定資産はありません。備品として、アーチパイプや防虫ネット等があります。

生産品目はトマト150万円、キャベツ130万円、オクラ100万円、ゴーヤー70万円、その他510万円、合計960万円の生産額となっております。平成25年度の総費用に対する採算点は約4千7百万円で、生産額、加工販売で1,520万円となっております。

問 西原ファームの実質赤字が2年間で約2千万円となっておりますが、町の交付金3千万円を返すことになっています。その見通しは。

副町長 役員報酬も軌道に乗るまで要らないという姿勢でおり、かなり厳しい状況にあります。事業計画の見なおし、予算規模を縮小しながら内部調整をしているところであります。

西原ファームが再生した耕作放棄地の例

◇上原棚原土地区画整理事業
◇琉大病院移転問題
◇自治会関連

喜納 昌盛 議員

問 上原・棚原土地区画整理事業、その換地処分計画は予定通り進めているか。

建設部長 今年の11月から12月を見込んでいる。それに向けては最終の事業計画変更及び換地計画について県の認可を受ける必要があり、協議を進めている所。協議が整うと地権者に縦覧を行なう。

問 併せて分筆も行なわれるのか。

建設部長 最終の換地処分に伴い、区画整理された現在の各地道路、公園等全てが新しい字名、地番になり、公図も新しく書き変えられる。分筆は土地所有者個々の申請によるものであり、特別な理由がない限り町がしない。

問 住居表示は法令で定められているのでは。

建設部長 住居表示を行なう場合は、住居表示に関する法律、住居表示実施基準に基づいて定めるが、この事業は住居表示を採用したものではなく、新しい字名と地番へ移行し、その番地が住所に設定されるもの。作業の進め方はその法律等に準じる形で行っている。

問 琉大病院の移転問題について何時、何処で、どの様な説明があったのか。

町長 5月13日に医学部長、病院長が説明に来られ、6月10日に大城学長がお見えになった。老朽化、全国で40余りの付属病院で唯一改修等も行なわず、今後、重粒子線の人材、施設整備、ドクターヘリポートの設置等を通して高度医療先進技術を目指していく計画。その状況の中で、西普天間地区へ、土地が20ヘクタール無償で提供できる話が出て、課題を解決する上で非常にわかる案ということで水面下で検討されてきた。構想の段階であり、具体的な計画はこれからで、跡地利用問題もこれからとの説明。

問 移転の時、琉大と協定書等は交わしてないか。特に付属病院とは、その特殊性から何らかの取り決めはされてないか。

町長 千原キャンパスについては村議会の中でも覚書が交わされている。病院については特にない様に思う。今、調査中です。

問 新たな出発とした千原自治会への助力を求めたい。

町長 永年の懸案で一つの自治会として誕生。できるものはしっかり支援していく。

移転が予定される琉球大学附属病院

◇坂田ハイツの件
◇名誉町民制度

前里 光信 議員

問 公共下水道事業と言うのは、ある意味地域の衛生とか生活レベルのアップにつながってくるわけであるが、坂田ハイツ地域の実情はどうなっているのか。

この件については以前に自治会長から、議会や町当尚に陳情要請が出されていたと解している。今後の方向性及び可能性についても質問する。

建設部長 坂田ハイツ地域の実状は浄化槽処理となっております。今後の方向性としては公共下水道の整備を予定しておりますが、実施に当たっては、その地域の流末部分となる県道那覇北中城線、及び県道浦添西原線が現在整備中でありますので、当該工事の進捗に合わせて下水道工事を行うことになります。なお、県のほうから両県道の実施設計が最近完成したという報告がございましたので、当該地域の下水道整備に係る実施設計を早急に予算計上できるよう検討してまいりたいと考えております。

問 名誉町民制度について。先日、称号、その授与式、祝賀会に参加して、これだけの町民の方々が参加して、名誉町民になられた方々を祝福しみんなで喜びを共にするあの姿を見て、これは大変よかったと、私はこの制度を議会で提案した者として本当にうれしく思いました。結果として考えてみると、提案した私は別に評価して欲しいとは思いませんが、多くの町民から評価を受けたのはこれを実施した上間町長だと思うのです。町長はよくぞこういう立派なことをやってくれたという思いで、ある意味感謝の言葉もあったのではないですか。又町の大きな行事等に名誉町民になられた方々を最優先して招待すべきだと思いますが町長はどう思いますか。

町長 名誉町民制度、これは西原町の郷土が生んだ、やはり大先輩方、先人の皆さんをやはり表彰することによって、自分たちの郷土の人物、そして郷土の再評価していく、またこういう先人たちに偉人たちがいたんだということを若い世代子供たちに授業の目標像になる、そういう人たちを紹介していく、このことによって子供たちの青少年の健全育成にもつながると、こういう思いでこの制度をスタートさせたわけでございます。今回受賞された方々を学校教材、副読本等で紹介していきたいと思います。

名誉町民顕彰式典及び祝賀会から